

CTCAEのGradeの定義と解釈

Grade	重症度の説明	対応
1	軽度の症状がある。 検査所見のみ。 治療を要さない。	経過観察
2	中等症 最小限/局所的/非侵襲的治療を要する 年齢相応の 身の回り以外 の日常生活動作の制限*	介入が必要 治療は継続または延期
3	重症または医学的に重大であるが、ただちに生命を脅かすものではない;入院または入院期間の延長を要する; 身の回りの日常生活動作 の制限**	病院への受診が必要 治療は延期または中止
4	生命を脅かす ; 緊急処置を要する	緊急受診が必要
5	副作用による死亡	

有害事象共通用語基準 v5.0 日本語訳JCOG版(CTCAE v5.0-JCOG)一部改変

*身の回り**以外**の日常生活動作 (instrumental ADL) 衣食住、労働に**直結する**動作:食事の準備、日用品や衣類の買い物、電話の利用、金銭管理など

身の回りの日常生活動作 (self care ADL) 衣食住、労働に直結しない**動作 : 入浴、食事の摂取、トイレの利用が可能で寝たきりではない状態。生活維持に必要な最低限の身の回りの動作を自ら行うことができる。